

令和4年度 冬季林間学校



Title: 青少年山の家 1・2年生コース *Date*: 2023.1.7(土)



好天に恵まれ、絶好の雪遊び日和となりました。

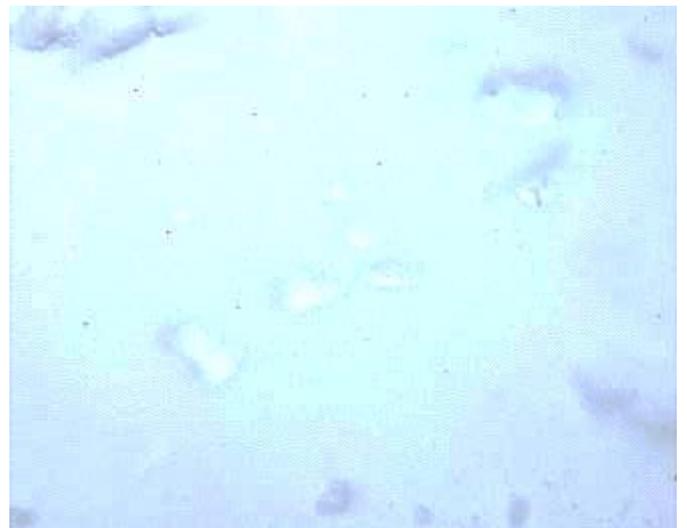
おうちの方とは駐車場でのお別れです。

「いってきまーす！」元気いっぱい、山の家へ向かいました。

まずはみんなで開校式です。



開校式の後には、クラスに分かれて仲間づくりゲームです。
自己紹介やゲームなど、みんなで楽しみます。
緊張をほぐし、友達のことを知っていきます。



午前は、みんなの小道コースの雪中ハイキング。

「雪博士になろう！」をテーマに、いざ出発です！

雪に足が埋まるので、けっこう大変ですが、負けずにどんどん進んでいきます。





雪に寝転がって見る空は、さいこう～！

「顔があったよ！」

「どんな顔だった？」

「えー悲しい顔？ちょっと笑ってる？」

同じものを見ていても、見え方に違いがあることにも気が付きました。



午後は、テントサイトでスノーランド作りです。
「何を作ろう？」協力して作ることを目標に、
各クラスでアイディアを出し合います。



「ここにベッドを掘って」
「ケーキといちごを作ろう」
「ピラミッド作りたい」
スコップ・コンテナ・バケツの道具を上手に使って、活動できました！



最後は、クラス毎にお互いの作品を見合います。
みんなで作る楽しい時間となりました。



山の家に戻って、退館式です。今日一日の出来事をみんなで振り返りました。
「雪博士になること・友達と一緒に活動すること・安全に過ごすこと」
あっという間でしたが、どの子にも、新しい発見や出会いがあった一日でした。
また、林間学校でお会いしましょうね。

Title: 青少年山の家 3・4年生コース *Date*: 2023.1.8(日)



3・4年生コースは、午前中は「冬の防災炊事体験」、
午後から「雪基地づくり」と、体験の目的をはっきりさせたプログラムです。
山の家に着いた後、早速、入館式です。



いろいろな細さの薪を作っていきます。
上手に「イ」の字が作れています。



どんどん薪割りをして、準備OK。
かまどに切った薪を並べます。
どう並べるかは、友達と相談して行います。



いよいよ、着火です。

ポリ袋に入れたお米を鍋に入れて、ご飯を炊きます。

ポリ袋を入れる子、ふたをあげる子、火を管理する子…

自分にできることを探し、友達と協働して活動を進めます。



ご飯を炊いている間に新聞紙を折って食器を作ります。
こうすると、災害の時に、貴重な水を洗い物に使わなくて済みます。
さあ、ご飯が炊けました。



けっこう多めの量ですが、あっという間に完食！
みんなで作ったご飯は、やっぱりおいしい！
自然と笑顔があふれます。



午後からは、雪を存分に楽しみます。
雪基地づくりです。



クラスごとに、好きなテーマを決めて取り組みます。
様々な基地づくりにチャレンジです。



どのクラスも、しっかりとした基地が完成しました。

みんなでアイデアを出し合って活動したことで、素晴らしい基地をつくることができました。



完成した後は、基地の中に入ってみます。
中で一休みする子どもたちも。



雪と仲間と、たくさんふれあい楽しみました。
写真を撮った後は次の人のためにお片付け。
最後に、1日の頑張りを振り返り、楽しい一日が終わりました。

Title: 青少年山の家 5・6年生コース *Date*: 2023.1.7(土)



好天に恵られました。

保護者に山の家駐車場まで送迎していただき、山の家へ向かいました。

全体での開校式の後、簡単な自己紹介。

そして、さっそくスノーシューハイキングの準備です。



ハイキングのコースの確認と、今回のキーアイテム「ゴールデンシート」の確認。
そしてスノーシューの準備。
今回は高学年らしい、ワイルドな自然を味わうコースに挑戦します。
いよいよ外へ！



スノーシューを装着していざ雪の中へ。
練習を兼ねて、ハイキングコースへ移動します。



激しい上り下りを「ワイルド!」「アタック!」のかけ声で励まし合いながら、フィールドビンゴをクリアして、ハイキングしていきます。
私たちの前にはウサギが遊んでいたようです。
あたりはウサギの足跡でびっしり。



休憩タイム、お弁当タイムの前に簡単基地づくり！

「ゴールデンシート」を前に相談が始まります。

「天井作ろうぜ。」「床には敷きたいよね。」「壁にしたら面白いよね。」

子どもたちの発想は、話し合いを経て形となっていきます。



大冒険が終わりました。森を抜けて、山の家が見える高台から尻滑り。
気持ちいい～！



山を下りた後は、一度部屋で着替えて休憩、暖をとります。
温まったあとは、お楽しみの焚火でマシュマロ！
温かいお茶と一緒に振り返りを行います。



マシュマロは、タイミングが難しい・・・。
あぶりすぎるとすぐにこげてしまいます。
でも回数を重ねると、みんな上手に！
最後は焼き方にこだわる焼きマシュマロ職人も誕生しました！



最後は退館式。
今日の頑張りを振り返りました。
さようなら。また会う日まで。